

# PLANT MORPHOLOGY 投稿規定

(2024年 9月 27日 改正)

日本植物形態学会会則第3条に基づき、学会誌「PLANT MORPHOLOGY」を刊行し、その投稿規定を下記のとおり定める。

1. 本学会誌に掲載された論文等の国内外における著作権（著作権法第21条から第28条までの権利を含む）は、日本植物形態学会に帰属する。
  - (1) 本誌に掲載された図・表・文章などを他の雑誌に転載する際には、学会長の許可を得ること。
  - (2) 著作者本人が、PLANT MORPHOLOGY 誌に掲載された学術論文を、著作者個人の Web ページあるいは所属機関の Web ページ（機関リポジトリを含む）でインターネット公開する権利を、学会として認める。その際には、出典（PLANT MORPHOLOGY 誌の出版年、巻号とページ）、および著作権が日本植物形態学会にあることを明記すること。また、著作者本人がインターネット上で公開することができる学術論文の形態は、著者最終稿または出版社版（冊子の当該論文部分または別刷りをスキャンしたもの、あるいは著者宛に配布される PDF ファイル）とする。
2. 本会学会誌に投稿する者は、原則として本会員に限る（ただし、共著の場合は必ずしも全員が会員である必要はない）。
3. 本誌が対象とする論文・記事は植物形態学ならびに関連領域に関するもので、原著論文、短報、総説などとする。
4. 他の雑誌・書籍等にすでに掲載された内容を含む原稿や、他の雑誌等に投稿中の原稿は原著論文や短報としてこれを投稿できない。
5. 4の例外として、原著論文の原稿を bioRxiv や Jxiv のようなプレプリントサーバーへ登録することができる。Plant Morphology のオンライン版の出版後、プレプリントサーバー上で当該論文へのリンクを表示しなくてはならない。
6. 総説等において、図・表・文章など出版済みの内容を転載している場合には、投稿前に著作権所持者の許可を取るとともに、著作権所持者の指示に従う形で、引用元を必ず明記すること。これらの規定に反した場合、また、データの捏造や他の著作物からの盗用など、科学的ないし社会的倫理に反する行為が判明した場合には、編集委員会は掲載決定後あるいは掲載後においてもその原稿の掲載取り消しを行うことができる。
7. 原稿は英文または和文とする。
8. 原稿の審査は編集委員と当該分野の専門家が行い、原稿の採否などは編集委員会の決定による。
9. 投稿原稿の体裁は次のとおりとする。
  - (1) テキストは一編につき一つの MS-Word 形式のファイルで作成すること。
    - ・和文原稿は MS 明朝、英文原稿は Times New Roman を用いる。
    - ・英文は必ず著者の責任において英語を母国語とする人に校閲してもらうこと。
    - ・上記以外に特殊フォントを使用したとき（数式、人名、Figure legend 等を含む）は投稿時にカバーレターに特殊フォントの種類と、それを使用した箇所を明記する。
    - ・投稿時に査読者の候補（氏名、所属、電子メールアドレス）を5名程度記入すること。
  - (2) テキストの内容は (a) 表題 (b) 著者名 (c) 所属先と所在地および Author for correspondence (氏名と電子メールアドレスを英語住所の後に記載) (d) 要旨 (e) Key words (3語以上5語以内) (f) 本文 (g) 引用文献からなる。ただし、和文の場合は英文の要旨（表題、著者名、所属を含む。フォントは Times New Roman）を添える。
  - (3) 図、写真、表、図の説明文は MS Word 形式のファイル本文中の希望箇所に挿入する。さらに、図、写真、表の元データファイル（JPEG、EPS、TIFF 形式のいずれか。360 dpi 以上の解像度）を MS Word ファイルとは別に提出する。図の大きさについては指定されない場合、版下の作成時に適宜調節される。縮小を避けたい場合は、入稿時に図のサイズを指定すること（横幅が1カラムか2カラムかなど）。
  - (4) 文献の表記は以下の i)、ii)を参照のこと。
    - i) 本文中に引用する文献の表記

- ・・・タンパク質であろう (Banno and Chua 2000, Favery et al. 2004)。
- ・・・と考えられている (Pickett-Heaps and Northcote 1966a, 1966b, Gunning and Wick 1985)。
- ・・・という可能性がある (図 5, Karahara et al. 2010)。

Marcus ら (2005) が指摘しているように・・・

Mineyuki と Gunning (1990) は、・・・

複数の場合、年代順とする。

- ii) 引用文献リストの表記は、筆頭著者名でアルファベット順に並べること。雑誌名は略称とする。著者数が 10 名を超える場合は、記載は 10 名までとし、著者名のあとに「et al.」あるいは「ら」と記載する。

Farrar, D. R., Dasler, C., Watkins, J. E., and Skelton, C. (2008) Gametophyte ecology. In: Ranker, T. A., and Haufler, C. H. (eds) *Biology and evolution of ferns and lycophytes*. Cambridge Univ. Press, Cambridge, pp. 222-256.

Hagemann, R. (1992) Plastid genetics in higher plants. In: Hermann, R. G. (ed) *Cell organelles*. Springer, Berlin Heidelberg New York, pp. 65-96.

Hirose, Y., Yonekawa, C., Nagao, N., Watanabe, M., Ikeuchi, M., and Eki, T. (2017) Characterization of the genuine type 2 chromatic acclimation in the two *Geminocystis* cyanobacteria. *DNA Res* (in press).

Ishihara, K., Takai, M., and Nishizawa, K. (2011) University of Tokyo, Japanese Patent P4729709, 2011-04-28.

Kasahara, R. D., Portereiko, M. F., Sandaklie-Nikolova, L., Rabiger, D. S., and Drews, G. N. (2005) *MYB98* is required for pollen tube guidance and synergid cell differentiation in *Arabidopsis*. *Plant Cell* 17: 2981-2992.

Maheshwari, P. (1950) *An introduction to the embryology of angiosperms*. McGraw-Hill Book Company, Inc., New York.

Matsubayashi, Y. and Sakagami, Y. (1996) Phytosulfokine, sulfated peptides that induce the proliferation of single mesophyll cells of *Asparagus officinalis* L. *Proc Natl Acad Sci USA* 93: 7623-7627.

Mineyuki, Y., Suda, J., and Karahara, I. (2004) Electron tomography. *Plant Morphol* 16: 21-30 (in Japanese).

峰雪芳宣、須田甚将、唐原一郎 (2004) 電子線トモグラフィー *Plant Morphol* 16: 21-30.

Mizuta, Y., Kurihara, D., and Higashiyama, T. (2015) Two-photon imaging with longer wavelength excitation in intact *Arabidopsis* tissues. *Protoplasma* doi: 10.1007/s00709-014-0754-5.

Sakamoto, Y., Ishimoto, A., Sakai, Y., Sato, M., Nishihama, R., Abe, K., Sano, Y., Furuichi, T., Tsuji, H., Kohchi, T., et al. (2022) Improved clearing method contributes to deep imaging of plant organs. *Commun Biol* 5: 12.

内山聖一、岡部弘基、稲田のりこ (2012) 蛍光寿命測定による細胞内温度分布イメージング *光化学* 43: 24-27.

10. 投稿にあたっては以下のものを電子メールで日本植物形態学会編集委員長に送付する。投稿原稿のファイル (MS-Word, および PDF) と図、写真、表の元データファイル、およびカバーレター。
11. 初校は著者の責任においておこなう。
12. カラー頁が含まれる場合、J-STAGE における PDF 版としてはカラー頁のまま公開される。印刷版にもカラー頁を希望する場合は、カラーページチャージとして 1 頁あたり 1 万円を著者負担とする (希望がなければモノクロ印刷となる)。別刷り分のカラー印刷の費用も別途著者負担とする (印刷版にカラー頁を希望しない場合は、別刷りもモノクロ印刷となる)。

原稿送付先：日本植物形態学会編集委員長 稲田のりこ  
 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1  
 大阪公立大学農学部応用生物科学科  
 Tel : 072-254-9463  
 e-mail : norikoinada@omu.ac.jp